

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2023年2月6日

事業所名：放課後等デイサービス ハッピーキッズ

対象人数（保護者）10人 回答者数 8人 回収 80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1			活動内容や人数、体の大きさにもよりますが、もう少し広いといいのかなと思います	活動内容によって2～4名のグループ分けをして取り組んでいます。小学生のお子様には遊具やスペースなど、物足りなさがあるかと思しますので、4月以降は戶外活動も取り入れるなども検討しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8					
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2		1	あまり意識して見たことがないから	
援助の切実な供支	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されているか	8					
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	2	4		
保護者への説明等	7	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1			利用初年度はあったが毎年はしてもらっていないように思います。でも毎年の必要性はないと思います。	ご利用契約時に、ご説明しております。『重要事項説明書』に記載しておりますのでご確認ください。必要であれば再度、ご説明させていただきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	1			活動の様子はHPで詳しく伝えてもらっているが、課題については子どもの様子が家とキッズでは違いがあると思うので、共通理解できているかどうかは分かりづらいところもある。	お子様の中には、ご家庭で見せる顔と施設で見せる顔が異なる方もいらっしゃいます。ご家庭での課題と感ずる部分はご相談いただきましたら施設で取り組める支援と一緒に考えますので、お気軽にご相談ください。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	4		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1				
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1				
	14	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	8					
等非常時の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。	7	1				
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7			1		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1			楽しみにしている部分もありますが、学年が上がれば学校の友だちと遊びたい気持ちも出てきているようです。	学校のお友達と遊びたい気持ちが芽生えてくるのは喜ばしいことですので、お子様のそういった思い、成長に合わせて利用回数を減らしていくことも一つかと思えます。利用頻度などは随時ご相談受け付けております。
	18	事業所の支援に満足しているか	8				手先の訓練や体幹を鍛える運動をよりしてもらえるとありがたいです	今後もバランスよく運動課題を取り入れて参ります。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 6日

事業所名

ハッピーキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0		支援上の理由や感染対策の観点から、活動場所を分けたり、大部屋をパーティションで区切ったりしている。
	2	職員の配置数は適切である	4	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0		職員会議やケース会議を行い、業務改善について話し合っている。また療育の前後に打ち合わせをしたり、集団活動について職員で実際に試してみたりしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		年1回アンケートを実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0		毎年自己評価を実施、施設のHPや保護者専用のアプリにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		現在、第三者評価は行っていないが、定期的にコンサルタントに運営や支援について助言をもらい、業務改善に繋げている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0		施設内研修を行ったり、外部の研修にオンラインで参加するなどしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0		少なくとも半年に1回の面談を行い、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		運営サポートサイトのアセスメントシートなど活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0		集団療育の活動については2週間交代制で担当者が中心となり、プログラムを立案している。立案されたものを職員全体で意見を出し合い実践している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0		2週間ごとに活動内容を変えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0		休日などに関わらず預かり時間は同じだが、ストレスが増える行事の多い時期などには、課題の設定を低くするなどして工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0		個別、集団での活動を組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0		個別療育の内容に関しては、児童発達支援管理責任者と担当保育士が事前に打ち合わせをし、療育後には振り返りを行っている。集団療育では昼礼にて打ち合わせをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	当日にできない時には翌日共有するようにしている。	個別療育の内容に関しては、児童発達支援管理責任者と担当保育士が事前に打ち合わせをし、療
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		その日気になった点などは、運営サポートアプリのケア記録に記すようにし、全員がいつでも閲覧可能な状態にしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		児童発達支援管理責任者が参加している。状況に応じて直接支援している保育士が同席することもある。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0		必要に応じて行っている。送迎サービスを行う際には、お迎え時刻を毎月FAXで知らせる等している。年度始めには職員の顔写真や送迎時の留意点などまとめた用紙をお渡しして、共通理解に努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1		必要に応じて、相談支援専門員を通して連携をとるようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1	現在の所、事例がない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0		児童発達支援センターが主催の研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3		自立支援協議会主催の研修に管理者が参加した。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0		ご利用日には、記録をコメント・支援計画の評価・写真が入ったものを専用アプリにて保護者に公開している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	0		保護者から相談を受けた場合に限らず、支援中に気になったことがあれば状況や対応を伝えるようにしている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		利用契約時にご説明している。運営規定については、常時、閲覧可能としている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0		必要に応じて面談で相談を受けたり、保護者様のご都合や心身の状態に合わせてLINEを活用するなど柔軟に対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		保護者会は実施していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1		苦情があった際には随時対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0		必要な連絡はLINEや専用アプリのお知らせ機能を活用している。
	35	個人情報に十分注意している	4	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		新型コロナウイルス感染症予防の観点や、児童のプライバシーの点から実施はしていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0		各種マニュアルを作成、常時閲覧可能としている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		2か月に1度、児童とともに避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0		虐待防止・権利擁護研修などを管理者が受講して、職員に共有している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0		児童の心身の状況に応じて様々なケースを想定して、職員と共通理解している。 現在のところ、身体拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	該当児童なし	食事・おやつ提供はないが、受入時にアレルギーの有無を確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0		ヒヤリハット報告は随時行い、記録して、再発防止に努めている。